

# 美川っ子

R3.1.22 文責：岡田憲明

## コロナに負けない

### ■口や鼻の周りを守っていこう■

#### ※ マスクをすること

- ・ コロナ対策として、マスクをつけることを呼びかけています。これは、飛沫を飛び散らせることがないようにする



という目的があります。周りの人の安全に配慮した対策です。しかし、実は、マスクは周りの人のためだけ

ということでもないようです。

- ・ マスクは口や鼻の周りを覆うようにかけています。マスクが口や鼻の周りを覆うことで、湿度が高まり、鼻の粘膜や、喉から肺にかけての線毛の働きを助けてくれるそうです。気管支の中の線毛は、外からのゴミや細菌、ウイルスなどを外に排出する働きをしているそうです。マスクは自分のためでもあるのですね。

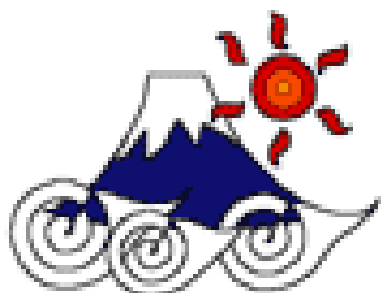
#### ※ 歯磨きをする（口の中の清潔を守る）こと

- ・ お年寄りなどに多い、誤嚥性肺炎。口の中の細菌が誤嚥した唾液とともに肺に入り、感染することがあります。もちろん、それは抵抗力の弱い子どもでも一緒です。
- ・ 丁寧に歯磨きする（口の中の清潔を保つ）ことで、細菌が体の中に入るのを予防することができます。特に、寝ている間に唾液の分泌が減り、細菌やウイルスが増えやすい夜の歯磨きは大切です。
- ・ 時間をかけて歯磨きするためには、椅子などに腰掛けて鏡を見ながら行うことが有効です。重光養護教諭が歯磨き指導で、「軽くシャカシャカと一カ所 20 回磨くと良い」とブラッシング指導の時に話していました。歯間ブラシも有効です。特に、年齢を重ねていくと歯肉が下がり、歯間の隙間が大きくなっています。思ったよりも多くのものが挟まっていることに驚かれると思います。
- ・ 丁寧なお手入れで、口の中の清潔を保ちましょう。感染症予防につながります。



## 新年の決意（目標）

令和 2 年度は、様々なことができなくなったり、制限がかけられた中での実施となったり、苦しい 1 年となりました。



私たち大人が今までに経験したことがないことが、現実のこととしておきています。目標としていたことが、突然目の前から消えてしまう。

オリンピックの実施さえ、ま

ならない今です。1 月 2 日、3 日に箱根駅伝の中継をテレビで視聴していたら、多くの選手が「この大会を開くために努力してください」感謝の言葉を口にしていました。このような苦しい状況の中、「何をめざすのか」「どう取り組んでいくのか」参考になることがあると思います、始業式の中で、子どもたちに話をしました。

○ 今年（2021 年）は、去年できなかった東京オリンピック開催の年

○ 箱根駅伝を見ましたか？

- ・ 多くの選手が、大会が開かれたことへの感謝の言葉を言いました。
- ・ 本当に大会が開かれるのか？できるかどうか分からないことに向かって努力を続けた。
- ・ 何のために、今、自分は努力しているのか。
- ・ 誰のために？何のために？走っているのか。
- ・ 今日、走ることができたことの喜び。今日、たすきをつなぐことができたことの喜び。
- ・ 自分のために努力する。

○ なりたい自分になる。

★目標は、具体的な方がよい→何を、いつまでに、どうするのか

★自分だけで納得するのではなく、多くの人に示した方がよい

◎ 新しい年です。がんばりたいことは何ですか→新年の決意

- ・ 継続は力なり。少しずつでも毎日続けられることを決めよう。

★失敗してもいい。大事なものは、結果ではなく、一人一人が目標に向かってチャレンジすることです。

◎ みなさん（子どもたち）の「こんな学校にしたい」という願いは実現する！

★大切なものは「こうなってほしい」と心に願うこと

★その願いをみんなに示すこと

★目標に向かって力を合わせる

◎ もう一つ、やり遂げてほしい大切なこと。

- ・ まとめの学期。それぞれの学年に応じてまとめをすること。
- ・ そして、それを、美川小学校の伝統として次の学年に引き継ぐこと。

□ 6 年生は、リーダーとして。5 年生は、サブリーダーとして。

・ 美川小学校の伝統を作るのは高学年。

□ 4 年生は、3 年生に。3 年生は 2 年生に。2 年生は 1 年生に。そして、1 年生は新入生に何を伝えますか。

□ しっかりと引き継いでいきましょう。

## 校内書き初め会

「〇〇初め」「初〇〇」と名がつくものは、通常、1 月 2 日に行われてきたものが多いようです。（または、1 月 2 日にしたこと）子どもたちも、冬休みの宿題として家庭で、本来の書き初めをしたことと思います。



書き初めはもともと、平安時代に宮中の一部の文人の行事として始まったと言われ、吉書初めでは元旦にその年始めて汲んだ水（若水）ですった墨を使って恵方を向





き詩歌を書いていた。一般的に広まったのは江戸時代で、当時の寺子屋教室の普及に伴い広がりました。また、明治以降に学校で習字が必修となり多く取り組まれるようになりました。昭和初期頃までは、神棚や、学問の神様と言われている「菅原道真」の絵の前で、「寿」や「福」などのおめでたい縁起のいい文字や漢詩



を書いて、年神棚へ納めたり、その年の恵方(縁起がいいとされている方角)の方角に貼ったりしていました。昔から、書道は文化の最高部門の一つとされており、天皇や公家、歌人や僧侶などが書の名人とされ、その人たちが高い地位の方ということで、書き初めがめでたい風習になったとも言われています。長い、昔からの伝統を引き継いできたのですね。

小学校では、1月13日(水)に書き初め会を行いました。1・2年生は教室で、3年生以上は体育館

で行いました。3年生以上は、普段使い慣れていない、条幅紙に、大きな筆を使って字を書くのですから、なかなか

うまくはいきません。字の上達(「とめ」・「払い」・「折れ」など)はもちろんですが、「失敗や簡単にできないことに負けない強い心」を育てたり、「一生懸命集中して取り組んで得られる満足感」を感じたりすることも大切です。

子どもたちが字を書く様子を見ましたが、真剣に課題に向き合い丁寧に書き初めを行っていました。日本で受けつがれてきた伝統を引き継いでいく子どもたちの姿を見ると、頼もしさを感じました。

## なわとび道場開始



1月12日から、「なわとび道場」が始まっています。これは、天候が悪くなりがちな冬場に、体育の時間や休み時間を利用して、継続してなわとびを行い、子どもたちの健康の増進や体力の向上、持久力を高めることを目的として行うものです。

曜日ごとに参加する学年が割り当てられていて、高学年が、下学年にアドバイスをしたり、お手本を見せたりしています。開始前と終了時には、全員で挨拶をして取り組んでいます。



子どもというのはふしぎなもので、(子どもに限らないかもしれませんが・・・)身近な人ができると、周りの子どもも、だんだん(どんどん)できるようになります。また、



大人に教えてもらうよりも、学年が少し上の先輩から教えてもらうと、そのアドバイスで、ぱっとできてしまうことがあります。このなわとび道場でも、そういった現象が起きていて、高学年とペアで練習



している低学年が難しい技を完成させています。下学年からの突き上げがあると、中学年、高学年もうかうかしてられません。相乗効果で、上手になっていくことができる良いシステムだと思います。これも美川小学校で受けつがれてきた良い伝統です。3学期スタートとともに、一人一人に『なわとびチャレンジカード』が配られています。2月10日(水)には全校で「なわとび集会」を行うことにしており、それを目標に練習に励んでいるところです。



縄跳び道場は、2月末まで、継続して行います。なわとびは引っかけたらそこで終わりですが、練習をすればするほど伸びを実感することができるという一面ももっています。体育の学習でもなわとびに取り組んでいますので、互いに関わり合いながら力を伸ばして欲しいと願っています。

## 2月行事予定

- 1日(月) 職員会、5年合同学習(午前中)
- 4日(木) 全校朝礼(表彰)、外国語(支援員)
- 5日(金) クラブ⑥
- 8日(月) 間伐体験(5年生:午前)、職員会
- 9日(火) 第3回学校評議員会
- 10日(水) なわとび集会
- 11日(木) **建国記念の日**
- 12日(金) 委員会⑥
- 15日(月) 全校テスト(国語)、安全点検
- 17日(水) 避難訓練
- 18日(木) 鼓笛引継式、授業公開日(1, 2, 4年)、四中入学説明会⑥、外国語(支援員)、PTA運営委員会
- 19日(金) クラブ⑥(3年生クラブ見学)  
メディアコントロールウィーク(~25日)
- 22日(月) 職員会議、竹島の日
- 23日(火) **天皇誕生日**
- 24日(水) ラブック号
- 25日(木) 外国語(ALT)、文化交流部会(18:30~)
- 26日(金) 委員会⑥、SC訪問日、全校テスト(算数)

## ほんたルーム(学校図書館)でおみくじ



○1月18日には、ほんたルームで、「本を借りた人が、おみくじを引くことができるコーナー」が登場しました。図書委員会で考えた企画です。ほんたルームは、本を返す人、借りる人で大賑わいでした。